

平成16年新潟県中越地震における 当センターの対応について

.....

(財)砂防・地すべり技術センター企画部

平成16年(2004年)10月23日17時56分に新潟県中越地方を震源とするマグニチュード6.8、最大震度7を記録する地震が発生しました。その後、11月30日9:00現在で、震度5弱以上を記録する余震が17回発生しており、これらの地震により、長岡市・小千谷市・山古志村・川口町・堀之内町(11月1日より魚沼市)など中越地方をはじめとする地域において甚大な被害を生じ、6市14町村で避難勧告・避難指示が出されました。避難者は10月26日には103,178人に及び、11月26日現在でなお6,366人が避難生活を送っています(内閣府発表「平成16年新潟県中越地震について(第43報)」より)。

■被害概要

(内閣府発表「平成16年新潟県中越地震について(第43報)」より抜粋)

(1) 人的・住家被害

(消防庁調べ：11月24日9時00分現在)

○人的被害

死者：40名
負傷者：2,869名

○住家被害

全壊：2,572棟
半壊：5,250棟
一部破損：57,727棟
建物火災：8件

(2) 土砂災害

(国土交通省調べ：11月26日13時00分現在)

・地すべり 131件
・がけ崩れ 115件
・土石流 21件

(3) 斜面崩壊発生状況

(STC調べ)

総数1,662箇所



写真1



写真2

■現地の状況

当センターの職員が、湯沢砂防事務所職員に同行し、現地に入る機会を得ましたので、紹介いたします。



写真3



写真4

○山古志村寺野地区河道閉塞状況（11月2日）

芋川左岸からの地すべり土塊が河道を閉塞している（写真1）。

○山古志村楯木地区河道閉塞状況

（11月2日）

芋川右岸からの崩壊土砂が河道を閉塞し、湛水が始まっている（写真2）。

○山古志村東竹沢河道閉塞状況

（11月2日）

芋川左岸からの地すべり土塊が河道を閉塞している。水位は11月2日以降も上昇し、数日後には芋川にかかる橋は水没した（写真3）。

○魚沼市（旧堀之内町）竜光地区

上流東竹沢等での河道閉塞土塊が土石流化し、竜光地区に氾濫する恐れがある。応急対策として、堤防に決壊を防止するためのトンバックを積み上げている（写真4）。

■当センターの取り組み

この災害に対して、社内でプロジェクトチームを結成して、関係各所からの依頼に対応しています。

また、マスコミ各社からの取材を受け、現象面や今後懸念される事項などについて専門家の立場からコメントを行いました（11月30日現在）。

10月24日	NHK「ニュース」	専務理事	池谷 浩
10月25日	NHK「クローズアップ現代」	専務理事	池谷 浩
10月26日	テレビ朝日「ワイドスクランブル」	専務理事	池谷 浩
10月27日	毎日新聞（朝刊）	専務理事	池谷 浩
10月27日	フジテレビ「特ダネ！」	専務理事	池谷 浩
10月28日	NHK「ニュース」	砂防技術研究所	榎木上席研究員
10月29日	新潟日報（朝刊）	砂防技術研究所	榎木上席研究員